

ケニアの郷土樹種メリアを乾燥に強くする ー地球温暖化への備えー



気候変動に伴うアフリカの半乾燥地・乾燥地化に備えるために、ケニアの郷土樹種であるメリア(*Melia volkensii*)を対象にした、耐乾燥性品種の開発への取り組みを紹介します。



講師 宮下久哉（林木育種センター育種部）

ケニアは、半乾燥地および乾燥地が国土の8割を占め、森林面積は国土の6%程度しかありません。また、気候変動の影響を受けやすい国の一つと考えられており、ケニア国政府は2010年に「国家気候変動対応戦略」を策定し、気候変動に対して積極的に取り組んでいます。

国際協力機構（JICA）「気候変動への適応のための乾燥地耐性育種プロジェクト」は、ケニア国政府からの要請を受け、2012年6月より開始しました。

このプロジェクトでは、ケニアの郷土樹種であるメリア（*Melia volkensii*）を対象に、優良な種苗による植林を推進する体制を構築することを目指しています。

メリアは、高品質の木材が生産されることと、成長が速く多目的利用が可能であることから、有用樹種として認識されてきています。

